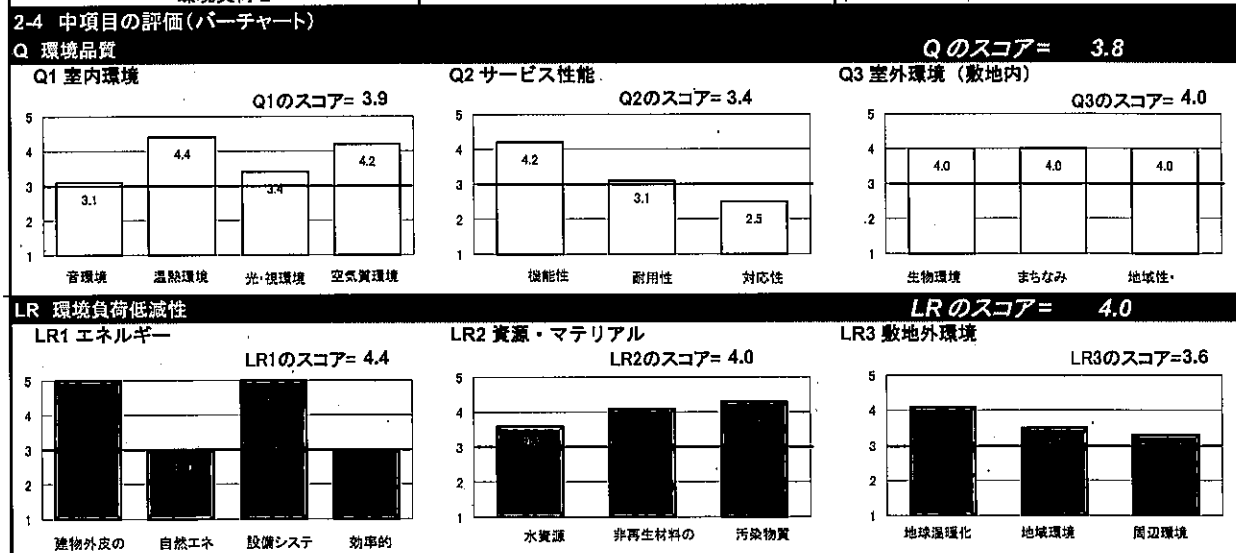
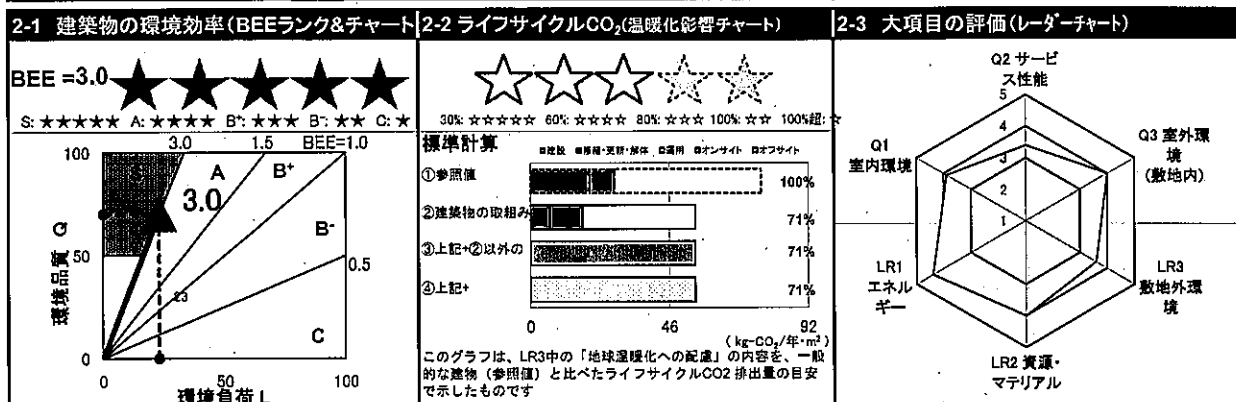
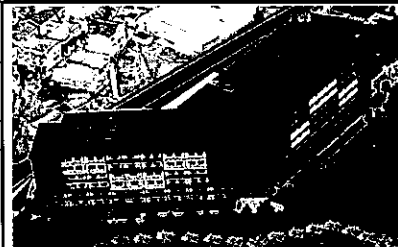


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	〈仮称〉向日台団地PF計画(1期工)	階数	地上7F	
建設地	京都府向日市向日町北山74番地	構造	RC造	
用途地域	第一種住居地域、法第22条区域	平均居住人員	394 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)	
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2026年7月 予定	評価の実施日	2025年1月10日	
敷地面積	10,485 m ²	作成者	岡本 陸	
建築面積	1,454 m ²	確認日	2025年1月10日	
延床面積	7,075 m ²	確認者	飯屋 健司	



3 設計上の配慮事項		
総合 環境と負荷軽減に配慮し、緑地を確保した緑量感のある計画を行っている。		
Q1 室内環境 室内環境向上を目指し、F☆☆☆☆建材を使用する。	Q2 サービス性能 耐久性に優れた建物を計画する。	Q3 室外環境(敷地内) 緑地を豊富に計画し、良好な住環境の形成に配慮する。
LR1 エネルギー 日本住宅性能評価表示基準「5-1断熱性能等級」における等級5を取得予定。	LR2 資源・マテリアル ・躯体と仕上げ材が容易に分別可能なようにしている。 ・有害物質を含まない建材を使用している。	LR3 敷地外環境 ・適切な駐車スペースを確保している。 ・LCCO2の排出量を低くするよう努め、地球温暖化に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される